

科目名称 (Course Title)				担当教員 (Instructor)	
卒業研究 I				中尾 誠二	
開講学期 (Semester)	単位数 (Credits)	履修年次 (Requirement)	授業形態 (Class Type)	受講定員の有無 (Maximum Enrollment)	授業公開 (Workshop Class)
前学期	2 単位	4 年次	演習	※「専門研究」から 持ち上がり	
授業の概要 (Course Description)					
<p>この授業は、地域社会のさまざまな課題を取り上げて、その課題をめぐる当事者との直接的な接触により、課題の解決に向けて受講者が何ができるかをみずから考え提案ないし提言をする、いわゆる PBL (Project Based Learning) 型の実践演習です。</p> <p>本クラスは、日本国内における「多自然圏 (≒農山漁村≠大都市圏) の活性化」を大テーマに調査・研究を行います。具体的な対象については事前調査 (文献調査) を通して設定し、現場実習 (実地踏査)、事後学習 (現状分析・改善点の考察・報告書作成・結果発表) を行います。</p>					
授業の到達目標 (Course Objectives)					
<p>PBLは、社会の実践的課題に直接向き合うことを通じて関係者との強い連携・協働の関係が期待される実践型の演習です。到達目標は、①目標とするキャリアの再確認や見直し、②社会人としての自覚とマナーの確立です。</p>					
授業計画 (Course Schedule)					
第 1 回	実践演習スタートアップ①				
第 2 回	" ②				
第 3 回	" ③				
第 4 回	文献調査①				
第 5 回	" ②				
第 6 回	" ③				
第 7 回	実地踏査①				
第 8 回	" ②				
第 9 回	" ③				
第 10 回	現状分析①				
第 11 回	" ②				
第 12 回	" ③				
第 13 回	改善点の考察①				
第 14 回	" ②				
第 15 回	" ③				
授業時間外学習 (Supplementary Activities)					
<p>①事業分野の情報収集 ②対象事業所の基礎的分析 ③課題関連資料の収集</p>					

成績評価の方法と基準(Grading)		
評価方法	(割合)	評価基準
受講態度	(40 %)	秀：必要なキーワードを過不足なく用いて、論理的に客観的な説明ができ、かつ、問題点を的確に指摘できている 優：キーワードを用いながら論理的に客観的な説明ができ、かつ、問題点を理解している 良：おおよその説明はできており、かつ、問題点を理解している 可：しくみや問題点の説明において、最低限の水準を満たしている 不可：しくみや問題点が説明できていない
ポートフォリオ	(30 %)	
グループ活動	(30 %)	
テキスト (Textbook)		【書名】 【著者】 【出版社】 【出版年】
参考書・資料等 (Supplementary Reading)		適宜紹介します
備考 (Other Information)		
教員との連絡方法 (Contact With Instructor)		研究室（4号館4F南側一番奥）前に掲示したTel/Mail等へ連絡もしくは在室時に直接面談